

至福の時間がゆったりと流れた日

11/23

至高の川根茶をゆったりとした時間の中で楽しんだ「川根時間」

千葉山智満寺(上長尾)で、町内の茶業関係者で構成する川根茶秋期イベント実行委員会は、第2回川根時間を開催しました。

約300人の来場者は、境内を彩る紅葉を楽しみながら、全国品評会で上位入賞したお茶を飲んだり、茶農家から直接おもてなしを受け、ゆったりとくつろぎながら川根茶を堪能しました。

茶歌舞伎(闘茶会)や茶菓子販売のほか、新たに「川根セミナー」と題した講演と町品評会出品茶のオークションゲームを開催し、来場者アンケートからも好評の声を多数いただきました。



生産者と消費者をつなぐ川根茶談義も好評でした

11/17

町長も舞った「第9回夜っぴとい神楽」



梅津神楽「八王子の舞」◎佐藤町長

駿河神楽6団体が22演目の舞を夜遅くにつけ披露

徳山コミュニティ防災センター屋外特設会場で、徳山古典芸能保存会は、第9回夜っぴとい神楽を開催しました。安倍川・大井川流域で継承されている神楽団体は駿河神楽と呼ばれており、6団体が一堂に会し22演目を披露しました。

出演したのは徳山古典芸能保存会と梅津・清沢・横沢・笹間・滝沢八坂神社の各神楽保存会。

会場には約300人の神楽ファンが集まり、各地域で継承され特色ある演目を楽しみました。主催者である徳山古典芸能保存会が火の舞を披露すると大きな歓声が上がっていました。

南部小児童が干し柿作りに挑戦

11/20

包丁さばきに手こずる児童もいる中、皮むきから体験しました

中川根南部小の6年生12人が、家庭科授業の一環として干し柿作りに取り組みました。

地域にある身近な柿を用いて、児童に包丁の使い方・皮むき体験と伝統の保存食に理解を深めてもらおうと企画しました。

職員の自宅に実った柿を使い、包丁さばきに手こずる児童もいる中、慎重に皮をむき、へたにビニールひもを結んでベランダの物干しざおに吊しました。勝山明日香さんが「秋の日に柿のカーテン きれいだな」と即興で一句詠み、教室を沸かせていました。



天日にさらして甘くなる干し柿を食べるのが楽しみです

本小児童が大井川に理解を深める

11/29

本小4・5年生が総合学習で奥泉発電所・長島ダム・資料館やまびこへ

本川根小学校の4・5年生21人が総合学習の一環として、大井川について学習するため、関係が深い町内3施設を訪問しました。

奥泉発電所では水力発電の役割と仕組みを、長島ダムでは多目的ダムとしての洪水調整や利水について、資料館やまびこでは川と共に暮らしてきた先人たちの知恵や生活様式などを職員から説明を受け、大井川について理解を深めました。長島ダムでは堤体内を見学し、外から見るダムの大きさと内部の広さに驚き、事前に勉強したことなどを職員に質問していました。



長島ダム白井さんから説明を受ける児童

12/2

町内全地区で地域防災訓練を実施

大規模地震発災時に自ら取るべき行動を地区ごとに確認



AED訓練キットを使って災害時の備えを確認しました

地域防災の日に、町内全地区の自主防災会・消防団と役場職員などが参加して、地区ごとに「震度6弱の突発型地震が発生」と想定した訓練が行われました。地区で設定した訓練計画に基づき、避難・通報・消火・炊き出しなどの各訓練のほか、防災資機材の確認、一部でAED講習も行われ、発災時に取るべき行動を確認しました。

また、県が行った緊急速報メール訓練の受信の可否も確認しました。文化会館ではAED講習が行われ、派遣された役場指導員から人工呼吸の方法などを習得、確認していました。

議会改革の一環として報告会開催

11/21・11/22

町議会は開かれた議会を目指し、議員視察研修報告会を2日間開催

文化会館と山村開発センターの2会場で、議員視察研修報告会を議員主導で行いました。

報告会の内容は、10月2日から3日間の日程で実施した福島県いわき市と会津若松市の視察研修。東日本大震災の被害状況と現状(いわき市小名浜港)、バイオマス発電を活用した企業視察(いわき大王製紙株)、議会基本条例の制定経緯と運用実態について(会津若松市議会)、木質バイオマス発電を行っている発電会社の視察(株)グリーン発電会津)など主に4つの視察研修内容が報告されました。



プロジェクターを使い、分かりやすい報告がありました